

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年11月30日(2017.11.30)

【公開番号】特開2016-124912(P2016-124912A)

【公開日】平成28年7月11日(2016.7.11)

【年通号数】公開・登録公報2016-041

【出願番号】特願2014-264924(P2014-264924)

【国際特許分類】

C 08 G 18/00 (2006.01)

C 08 G 18/18 (2006.01)

C 08 G 18/67 (2006.01)

C 08 G 18/76 (2006.01)

C 08 G 101/00 (2006.01)

【F I】

C 08 G 18/00 F

C 08 G 18/18

C 08 G 18/00 L

C 08 G 18/67

C 08 G 18/76

C 08 G 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月20日(2017.10.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

活性水素含有化合物( A )、ビニル重合性化合物( Z )、水を含有する発泡剤( B )、整泡剤( C )及び触媒( Y )を含有する樹脂製造用活性水素含有組成物であって、ビニル重合性化合物( Z )が、下記一般式( 1 )で示されるビニル重合性官能基を有し、分子内のビニル重合性官能基の濃度が 0.5 ~ 20 ( mmol/g )である下記( Z1 ) ~ ( Z3 )からなる群より選ばれる1種以上のビニル重合性化合物であり、触媒( Y )が、1 ~ 3級アミンとカルボン酸の塩( Y1 )を含有する樹脂製造用活性水素含有組成物。



[一般式( 1 )中、Rは、水素、炭素数1 ~ 15のアルキル基又は炭素数6 ~ 21のアリール基を表す。]

( Z1 )ポリオールの不飽和カルボン酸エステル又は不飽和アルキルエーテル

( Z2 )アミンの不飽和カルボン酸アミド化物又は不飽和アルキル化物

( Z3 )ポリチオールの不飽和カルボン酸チオエステル又は不飽和アルキルチオエーテル

【請求項2】

ビニル重合性化合物( Z )の活性水素価が0 ~ 500である請求項1記載の樹脂製造用活性水素含有組成物。

**【請求項 3】**

触媒 (Y1) のカルボン酸が、飽和若しくは不飽和脂肪族カルボン酸である請求項1又は2に記載の樹脂製造用活性水素含有組成物。

**【請求項 4】**

活性水素含有化合物 (A) とビニル重合性化合物 (Z) の合計重量に基づく触媒 (Y1) の量が 0.1 ~ 10 重量% である請求項1 ~ 3 のいずれかに記載の樹脂製造用活性水素含有組成物。

**【請求項 5】**

活性水素含有化合物 (A) の活性水素価が 50 ~ 1900 である請求項1 ~ 4 のいずれかに記載の樹脂製造用活性水素含有組成物。

**【請求項 6】**

請求項1 ~ 5 のいずれかに記載の樹脂製造用活性水素含有組成物と有機ポリイソシアネート (E) とを反応させる硬質ポリウレタンフォーム又は硬質ポリイソシアヌレートフォームの製造方法。

**【請求項 7】**

有機ポリイソシアネート (E) が、2,4',- 又は 4,4',-ジフェニルメタンジイソシアネート及びポリメチレンポリフェニレンポリイソシアネート並びにそれらの変性物からなる群より選ばれる 1 種以上を含有する請求項6に記載の硬質ポリウレタンフォーム又は硬質ポリイソシアヌレートフォームの製造方法。

**【請求項 8】**

イソシアネート指数が 70 ~ 500 である請求項6又は7に記載の硬質ポリウレタンフォーム又は硬質ポリイソシアヌレートフォームの製造方法。

**【請求項 9】**

請求項1 ~ 5 のいずれかに記載の樹脂製造用活性水素含有組成物と有機ポリイソシアネート (E) とを反応させてなるサンドイッチパネル、ボード、サイディング又はスプレーに使用される硬質ポリウレタンフォーム又は硬質ポリイソシアヌレートフォーム。

**【請求項 10】**

請求項1 ~ 5 のいずれかに記載の樹脂製造用活性水素含有組成物と有機ポリイソシアネート (E) とを反応させてなる断熱材用ポリウレタンフォーム又は断熱材用ポリイソシアヌレートフォーム。